

うきは市 地域住民説明会 妹川地区

日時：10月1日（水） 19時～20時

場所：妹川コミュニティセンター

参加者：10人

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山 C（山本、吉田健）

■質疑応答

- ・PTAの会長から伝達があったため参加した。保護者としては回覧板とメールやtotoru配信だけでの周知は不十分と感じる。説明資料も紙資料で配布してほしい。
→紙での配布も検討するが、ペーパーレスを推進している点も考慮して頂きたい。
- ・あり方委員会のアンケートについて実施期間が短かった。また、選択式では意見の吸い上げも不十分であり記述式にしてほしい。
→こちらもペーパーレスを推進していることも考慮して頂きたい。また、最後に記述欄を設けて意見を伺った。
- ・新しい学校は駐車場整備を考慮してほしい。運動会等の行事で非常に混雑する。
→先進地の香春思永館でも同様の課題が上がっていた。できるだけ駐車場スペースを確保できるようになしたい。
- ・現在のスクールバスの運用について、体調や予定により乗車しないこともあるので保護者と運転手で意思疎通ができるようにしてほしい。前日に連絡帳や学校側へ連絡するように周知はあったが徹底されていないように感じる。バスが来ないこともあったが連絡先も繋がらないこともあります。
→市からドライバーに定時運行遵守を依頼しており、教育委員会を介して連絡を行っていることからツール整備は難しいと考えている。また、AIデマンドタクシーの実証実験を予定しており、今後検討活用を検討していきたい。
- ・今回の統合は教育環境の大きな変化と受け止めている。保護者や地域住民に参加を促す周知に工夫が必要であると感じている。今後も地域住民との意見交換の場を設けて頂きたい。
→ご意見として承る。
- ・こういう話を10年前にして頂きたかった。やっと小中学校の統合の話がでてきた。教育は非常に重要なことで、最新のICTを活用したり、より良い教育環境の充実を推進して頂きたい。よろしくお願ひします。
→ご意見として承ります。
→学校は地域コミュニティの核であり、今後も検討を進めていく。単に規模を維持するために吉井町域と合併するのではなく、浮羽町域の中学校を残すためにも検討をしていく。
- ・今朝の西日本新聞で全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果が報道されていた。うきは市の現状はどうか。
→全国平均値より少し上回っている。その中でも、国語と数学は少し全国平均より下回っている。

- ・検討委員会で保護者と市の意見は一致しているか。
→委員会では小中一貫教育の意見が大半であった。保護者説明会からは将来の教育環境を見据えた前向きな意見が集まった。
- ・保護者にとって、19時開催は難しい。資料は紙で頂けたらありがたい。
→ご意見として承ります。
- ・5年くらいを目途に統合校を建設予定のことだが、統合した暁には、浮羽町の学力が少しでも上がるようになればありがたい。
→ご意見として承ります。本日は子供の学力レベルの議論が出て嬉しく思っている。
- ・1学級の理想的な規模はどうか。
→現在中学校は40名が最大。近々国の方針で35名を最大にすることもできるようになる。教員としては、切磋琢磨できる一定の人数は必要であるが、より少ない人数だと目が行き届いて有難い。

以上